

岡山市水道局の保有する個人情報の取扱委託に関する覚書（案）

岡山市水道局（以下「発注者」という。）と
（以下「受注者」という。）は、令和 年 月 日付けで締結した岡山市水道に関する意識調査業務委託に係る委託契約（以下「契約」という。）に基づいて取り扱う、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号。以下「法」という。）第2条第1項に規定する個人情報であって発注者が保有するもの（以下「保有個人情報」という。）を適正に管理し、もって個人の権利利益を保護するため、法に基づき、次のとおり覚書を締結する。

（個人情報保護の基本原則）

第1条 受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約に基づく業務を実施するに当たり、個人の権利利益を侵害することのないよう、保有個人情報を適正に取り扱わなければならない。

（秘密の保持）

第2条 受注者は、この契約に基づく業務に関して知り得た保有個人情報をみだりに他人に知らせ、又は契約の目的以外の目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

（責任者の指定）

第3条 受注者は、保有個人情報を適切に管理するため、個人情報受託管理責任者（以下「責任者」という。）を置く。

2 責任者は次に掲げる者とする。

職 名

氏 名

3 責任者は、保有個人情報が適正に取り扱われるよう受注者の指揮監督を受けてこの契約による業務に従事している者（以下「業務従事者」という。）を指揮監督しなければならない。

（業務従事者への周知）

第4条 受注者は、直接的であるか間接的であるかを問わず、業務従事者に対して、在職中及び退職後においてもこの契約に基づく業務に関して知り得た保有個人情報をみだりに他人に知らせ、又は契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、保有個人情報の保護の徹底について周知しなければならない。

（適正な安全管理）

第5条 受注者は、この契約に基づく業務に係る保有個人情報の漏えい、滅失、改ざん、又は損傷の防止その他の保有個人情報の適切な安全管理のために必要な措置を講じなければならない。また保有個人情報の漏えい等による被害発生リスクを低減する観点から、利用目的、業務の内容、個人情報の秘匿性等その内容などを考慮し、必要に応じ、氏名を番号に置き換える等の匿名化措置を行わなければならない。

（再委託の禁止）

第6条 受注者は、保有個人情報の取扱いの委託の全部又は一部を再委託してはならない。ただし、契約において再委託が認められており、かつ、あらかじめ次に掲げる事項を記載した書面により申請し、発注者の承認を受けた場合はこの限りではない。なお、再委託する場合にあつては、受注者は、再委託先（再委託先が委託先の子会社（会社法（平成17年法律第86号）第2条第1項第3号に規定する子会社をいう。）である場合も含む。）に対してもこの覚書の内容に相当する程度の措置を講じなければならない。

（1）契約の名称

（2）再委託先名（住所、商号又は名称及び代表者職氏名）

（3）再委託する理由

（4）再委託契約の内容（契約年月日、履行場所及び委託期間）

（5）再委託して処理する内容

（6）再委託先が取り扱う個人情報

2 前項の書面には、受注者と再委託先との間でこの覚書に準じて締結する予定の個人情報の取扱委託に関する覚書の案を添付しなければならない。

（収集の制限）

第7条 受注者は、この契約に基づく業務に係る個人情報を収集するときは、当該業務の目的を達成するために必要な範囲で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

（利用及び提供の制限）

第8条 受注者は、発注者の指示又は承諾がある場合を除き、この契約に基づく業務に関して知り得た保有個人情報を当該契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

（複写、複製の禁止）

第9条 受注者は、発注者の指示又は承諾がある場合を除き、この契約に基づく業務に関して知り得た保有個人情報を複写し、又は複製してはならない。

（安全管理の確認）

- 第10条 発注者は、受注者が取り扱う保有個人情報の安全管理措置が適切に行われていることを適宜確認することとする。また、発注者は必要と認めたとき、受注者に対し保有個人情報の取扱状況について報告若しくは資料の提出を求め、又は受注者が保有個人情報を取り扱う場所で、当該取扱状況を確認することができる。
(業務従事者の監督)
- 第11条 受注者は、業務従事者に対し、保有個人情報に関する秘密保持義務を負わせるとともに、その目的外利用を禁止するものとする。
- 2 受注者は、本件業務の遂行上、実際に保有個人情報を取り扱う業務従事者の範囲を限定するものとし、当該業務従事者に対して必要かつ適切な監督を行わなければならない。
- 3 受注者は、業務従事者が退職する場合、当該業務従事者に対し、退職後の秘密保持義務に関する誓約書の提出を求めるなど、在任若しくは在職中に知り得た全ての保有個人情報の返還又は破棄を義務づけるために合理的に必要と認められる措置を講ずるものとする。
(改善の指示)
- 第12条 発注者は、報告、資料の提出又は実地検査の結果、受注者において保有個人情報の安全管理措置が十分に講じられていないと認めたときは、受注者に対し、その理由を書面により通知かつ説明した上で、安全管理措置の改善を要請することができるものとする。
- 2 受注者は、前項の要請を受けたときは、安全管理措置の改善について発注者と協議を行わなければならない。
(記録の搬送等)
- 第13条 受注者及び受注者の従事者は、保有個人情報を搬送等するときは、保有個人情報の飛散等の流出事故を想定したうえで、安全、確実にしなければならない。
(廃棄等)
- 第14条 受注者は、この契約に基づく業務に関して知り得た保有個人情報について、発注者から指示があったとき又は保有する必要がなくなったときは、確実かつ速やかに発注者への返却、廃棄又は消去（以下「廃棄等」という。）しなければならない。なお、受注者がこの契約に基づく業務に関して知り得た保有個人情報の廃棄等を行う場合には、発注者の立会いのもとに返却、廃棄又は消去しなければならない。
(事故発生時における報告)
- 第15条 受注者は、この契約に基づく保有個人情報に関する事項に違反する事態が生じ、又はおそれがある場合は、直ちに発注者へ報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。
- 第16条 発注者は、受注者がこの覚書の記載事項に違反した場合は、契約を解除することができるのと同時に必要な措置を求めることができる。
(罰則等の周知)
- 第17条 受注者は、保有個人情報を不正に取り扱った場合の罰則適用（法第176条及び第180条）について、受注者の従事者に周知し、徹底させなければならない。
(その他)
- 第18条 この覚書について疑義が生じたときは、発注者、受注者協議のうえ、解決するものとする。

上記合意の証として本書2通を作成し、発注者、受注者記名押印の上、各1通を保有する。

令和 年 月 日

発注者	岡山市北区鹿田町二丁目1番1号	
	岡山市水道局	
	岡山市水道事業管理者	
	水道局長 栗原 諭	印

受注者	住所	
	商号又は名称	
	代表者職氏名	印

(水道局の保有する個人情報の取扱委託に関する覚書第6条第1項に規定する書面)

年 月 日

岡山市水道局の保有する個人情報の取扱委託の再委託承認申請書

岡山市水道事業管理者 様

受注者 住所
商号又は名称
代表者職氏名 印

年 月 日付けで岡山市水道局と受注者との間で締結した委託業務について、個人情報全部の取扱いの一部を下記のとおり再委託したいので、申請します。

記

1 本契約の名称		
2 再委託先名	住 所	
	商号又は名称	
	代表者職氏名	
3 再委託する理由		
4 再委託契約の内容	契 約 年 月 日	
	履 行 場 所	
	委 託 期 間	
5 再委託して処理する内容		
6 再委託先が取り扱う個人情報		

※ 再委託先と締結する予定の個人情報の取扱委託に関する覚書の案を添付すること。

(水道局の保有する個人情報の取扱委託の再委託承認申請に対する承認通知書)

岡水 起第 号
年 月 日

岡山市水道局の保有する個人情報の取扱委託の再委託承認通知書

受注者 住所
商号又は名称
代表者職氏名 様

岡山市北区鹿田町二丁目 1 番 1 号
岡山市水道局
岡山市水道事業管理者
水道局長 栗 原 諭

年 月 日付けで申請のあった 業務における岡山市水道局
全部
の保有する個人情報の取扱いの を再委託することについて、承認したので通知します。
一部
なお、再委託先と「個人情報取扱委託に関する覚書」を締結した際には、その写しを提出してくだ
さい。